

## 市内産宇治茶ブランド化推進事業について

### 1 趣旨

「宇治茶」は、これまでから、宇治茶の郷づくり協議会をはじめ、業界団体や京都山城地域の市町村の尽力により、気象条件・製法・品質のすべてを兼ね備えた伝統と技の継承により、国内屈指の高級茶のブランドとして認知されている。

また、世界文化遺産登録に向けた活動や、歴史と伝統と融合した文化が根付いた地域であることから、日本遺産第1号として認定を受けたところであり、お茶に対する注目が高まってきている。

そのような中、「宇治茶」は高級茶としての用途のみならず、製菓材料等への用途拡大など、需要の拡大は多方面への広がりを見せているが、「宇治茶」のブランド価値の源泉と自負する宇治市内の茶園及び茶業は、その製法が伝統的なものであるため、産出コストが高く、現在の単価低迷状況の中、非常に厳しい経営を強いられている。

そこで、「宇治茶」の中心的存在である「宇治市内産宇治茶」の高付加価値化を図り、古の産地の名称である「宇治茶」全体のブランド価値向上に繋げることにより、宇治市内の茶園及び茶業を継承・発展させるため、宇治市内における茶業の現状を改めて整理し、「宇治市内産宇治茶」のブランド化のあり方及び需要喚起のための活用戦略を検討するものである。

また、平成26年10月16日には「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」を制定し、併せて宇治茶商工業協会と本市でオリジナル茶「碾玉(てんぎょく)」を共同開発した。この「碾玉」について「宇治市内産宇治茶」の象徴として、さらにブランド化を戦略的に推進するツールの一つとして、有効に活用する手法も検討する。

### 2 事業内容

#### ① 茶業に関する現状の整理

- ア 宇治市内における茶生産の現状把握
- イ 消費者の宇治茶に対するブランド認識の把握
- ウ 関係者へのヒアリング調査

#### ② 「宇治市内産宇治茶」のブランディング戦略構築の提案

現状の整理を踏まえて「宇治市内産宇治茶」のブランドコンセプトの策定及びブランディング戦略構築の検討

③ 「碾玉」の活用方法の提案

宇治市と宇治茶商工業協会が共同で開発したオリジナル茶「碾玉」について、今後の具体的な活用方法の検討